

2023年7月9日(日)
中国新聞 SELECT 掲載



中米・コスタリカの首都サンホセから30³ほど東にある標高約2300²のシヤノグランドという農村で2009年から2年間、JICA海外協力隊の村落開発普及員として活動した。特産のイチゴやバラを使っ

JICA
だより



コスタリカ
(2009～11年派遣)
森山莉紗さん(38)
広島市安佐北区

たエコツリズムの立ち上げを要請されていた。

だが、現地では課題が山積していた。国内には既に有名な観光地が多い上に、サンホセとのアクセスが悪く、英語を話せる人も少なかった。さらに、村中ごみ

体験型観光可能性探る

だらけだった。
根詰めて活動している
と、つらくなることも多々
あった。そんな時は現地の
人たちに倣い「ブラ・ビダ

「！」と言うことにした。直訳すれば「純粋な人生」というスペイン語だが、この国では「最高」「いい感じ」との意味にもなり、あいさ



イチゴ狩りツアーを始めたジャノグランドの農家（手前の3人）。手にするのはイチゴとジャム

「プラ・ビダ
—」と言えは、
なぜか元気に
きなのかもしれない。

「とにかく何かやってみよう」と赴任中に始めたの
なれる魔法の言葉なのだ。

成果があまり見えないまま任期の2年が過ぎた。反省点も頭に浮

が、イチゴ狩りツアーやイチゴのジャム作り教室だった。こうした取り組みをヒントに、最近彼らが始めたのがフラワーアレンジメント

かんだが、現地の仲間たちト作りの体験教室。これが
の反応は「そんなに急ぐ必結構な人気だそうだ。

要ないじゃないの」。働き過ぎは「プラ・ビダ」でない。みんな、楽しみながらも活動を続けてくれている。現地の2年間を思

家族との時間を大切に
し、疲れたら休み、楽しく
「プラ・ビダ」な調子でよ
かったと思っている。